

2013 年度 Twinning Project 報告

25 年度の Twinning Project の活動は、以下の 3 つが掲げられました。

- 1) ベトナム助産師会との交流の促進と助産師の質の向上をめざすために助産師教育のテキスト等をベトナム語に翻訳
- 2) ベトナムの母子保健事情と助産師の活躍の実際を視察
- 3) ベトナムの助産師を日本に招聘し、助産所、病院等の施設で研修し、学んだ知識・技術をベトナム助産師教育の向上に活用

- 1) ベトナム助産師会との交流の促進と助産師の質の向上をめざすために助産師教育のテキスト等をベトナム語に翻訳

- ① 助産専門書 350 語彙
- ② 助産院パンフレット 3 施設ベトナム語翻訳
- ③ 助産院パンフレット 3 施設英語翻訳
- ④ 助産業務指針抜粋ベトナム語翻訳
- ⑤ 助産専門書会話集 20 ページベトナム語翻訳

上記 5 種類を国際委員で選定し、ベトナム翻訳専門の会社 AHP ネットワークスと日本で看護学・助産学を学び助産師として活躍しているベトナム人のティエン・ティ・マイさんに翻訳を依頼した。

- 2) ベトナムの母子保健事情と助産師の活躍の実際を視察

期日：平成 25 年 8 月 1 日～5 日

場所：ホーチミン、ベトナム

同行メンバー（5 名）：岡本喜代子（会長）、山本詩子（副会長）、岡本登美子（助産所での教育担当）、ティエン・ティ・マイ（国際委員）、谷口初美（国際委員長）

平成 25 年 8 月 2 日：午前中 TUDU 病院見学（年間の分娩件数 6 万 2000 例、一日の出産件数 150 例）の病院、日本で長年治療を受けたベトちゃん・ドクちゃんの病院である。



午後からは、ベトナム助産師会総会に出席し、岡本会長スピーチ（挨拶）とマイさんによる日本の助産業務が発表された。

平成 25 年 8 月 3 日

NHA BAO SANH CUC マタニティーハウス、Phan Thiet City 保健局・総合病院、An Phuoc 病院見学



平成 25 年 8 月 4 日

9 : 00 ~ 12 : 00 Twinning Workshop

- ① 2名の助産院の先生（山本先生、岡本先生）に日本の助産所でのケアについてベトナム約したパンフレットをもとに説明があった。また、ベトナム研修生受け入れについて、要望、状況等説明をした。



このベトナム視察において、

- ①ベトナムの助産師国家免許制度がないこと専門学校卒業で社会に出ている事がわかり、卒業校によって助産師のレベルはさまざまである。
- ②助産師の業務が出産のみに限られており、大都市においては計画された管理分娩がされ、人間としての尊厳やプライバシーを守り女性らしい細やかな配慮が無視された助産モデルのない分娩が実施されている。
- ③助産師による妊娠中や産後のケアがされていない。

上記のことが明らかになり、今後ベトナムの助産師教育を支援する上での課題を発見できた大変有意義な旅となった。

3) ベトナムの助産師を日本に招聘し、助産所、病院等の施設で研修し、学んだ知識・技術をベトナム助産師教育の向上に活用

本年度のベトナム視察をした際、**Twinning Project Meeting** に集ったベトナム助産師会の理事達は、山本助産院、岡本助産院の説明を聞き、日本での研修に大変興味を示した。そこで、下記のような条件で本年度内に日本での研修を助産所、病院等で実施する予定である。

- ・ 時期：平成 25 年度、2014 年 3 月 31 日まで
- ・ 対象者：ベトナムの助産師 2 名 ①将来的有望者、 ②英語が最低でも話せる
- ・ 期間：2 週間（助産所、病院等での研修）

添付の決算報告書におきましては、

1. 助産所研修用資料作成（施設案内）、ベトナム語（一部英語翻訳）¥374,000

2. ベトナム病院視察（H25.8.2-5）¥419,845

の明細でございます。この中から支援していただきました 50 万円を支出させて頂きました。

堺ソロプチミスト姉妹のご支援で本年度は、上記の活動ができました。これは、今後も引き続きおこなわなければなりません。2015 年 MDGs（ミレニアム開発目標）のゴールまでに幼児死亡率削減、妊産婦の健康の改善への使命があります。

どうぞ、来年度も引き続きご支援いただけます様よろしくお願い申し上げます。

文責：谷口初美（日本助産師会国際委員長）